

# 令和5年度 事業報告

## 1. 理念と方針の事業への反映

基本理念と基本方針に基づいた行動をするため、職員にその趣旨が理解されるよう、様々な機会を通じて伝えるように努力した。  
最初に利用者にとって良い結果につながる判断をすることを考え、それを持続するために、法人にとっても良い結果につながる判断をするように繰り返し説明した。その結果、「職員の感情を判断基準にしない。まず利用者ファースト、次に法人の利益も背反しないような判断基準を心掛ける。」ことが少し根付いてきたように思う。しかし、継続的に実行していないと楽な方へと向かいがちなので、今後とも研修等の定期的な開催を実施する。

## 2. 法人の事業目標と達成のための具体的行動について

### \*サービスの質の向上

- 目標 ① 利用者の意見を聞く体制と実現への配慮
- 目標 ② 安全で快適な環境づくり
- 目標 ③ リスクマネジメント

### \*職員の育成

- 目標 ④ 研修への積極的参加
- 目標 ⑤ 法人内専門委員会の活性化と維持

上記を目標に設定したが、何れも完全では無いものの以前よりは向上してきたように思える。特に①は日常生活の場でも心掛けられており、⑤については内容も回数も充実してきている。

## 3. 各事業所における目標について

作業所名：目標

倉敷作業所：「やる気を引き出す」「工賃アップ」

水島作業所：「きめ細かい支援に力を注ぐ」

児島作業所：「安定したサービスと支援の提供を目指す」

玉島作業所：「園芸事業の安定」

洲崎作業所：「農業（野菜）の作業比率を高める」「スローガン：元気いっぱい、楽しい洲崎」

洲崎はダイハツの操業停止の余波を被り、予定の工賃は稼げなかったがその分イベントを充実させ「元気いっぱい・・・」の部分は達成できた。農業の比率を高めることは出来なかった。

他の事業所については、平均工賃月額が全ての事業所で増加した。中でも水島と玉島では、工賃額の計算方法の変更に伴い、月額2万円を超える数字を得られ、6年度の収入増に寄与できた。契約者数は、期末に90名だった。

## 令和5年度 事業報告

### 4. 地域における公益的な活動について

職場体験の受け入れ等を通じて、地域の福祉サービスの周知や福祉人材の育成に貢献した。

### 5. 研修の実施状況

- ・ 管理者会議（12回）と研修（随時）、全職員研修（1回）
- ・ 虐待防止委員会 3回
- ・ 身体拘束適正化検討委員会 2回
- ・ 感染症防止委員会 4回
- ・ 事故防止委員会 2回
- ・ 工賃向上委員会 4回
- ・ 新職員研修 随時

予定通り実施できた。

### 6. 行事

- ・ 理事会、監査、評議員会
- ・ 利用者の社会見学等外部でのレクリエーション

理事会等は予定通り実施できた。利用者行事については、一部の事業所のみで実施できた。

### 7. 施設整備

- ・ 水島事業所の新築移転

見積もりを交渉中であり、令和6年度内には完成する予定。敷地については、倉敷市所有の部分も購入完了した。

- ・ 倉敷事業所の隣地の購入

完了した。

以上